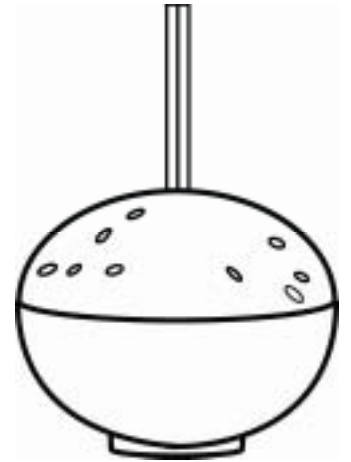


# 一膳飯・枕団子の準備

## 一膳飯（枕めし）

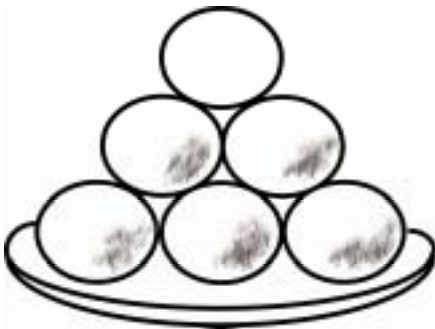
炊きたてのご飯を、故人が日常使用していた茶碗に山盛りにして、  
(最後のご飯ですから、なるべく沢山きれいに盛ってください。)  
箸を真ん中に立てます。

ご飯は、正式には1合を普段使っているお釜とは別釜で炊いて  
作ります。大変な場合は省略して皆のご飯を炊いたときにそちら  
から頂いてもかまいません。



火葬場にてお供えして、持ち帰りません。お茶碗と箸を  
形見に残しておきたい場合はご注意下さい。

## 枕団子



亡くなった時に枕飾りに供えるお団子のことです。  
言われは死出の旅の途中で、お腹をすかせた人に分け与えて、  
(六地藏や、十三仏等)功德を積みながらゴールまでいけるよう  
にと、旅の途中のおやつとか、色々な事を伺います。

個数に関してはお寺様でも違いますが、横須賀近辺では  
『6個・7個・10個・12個・13個・偶数個』  
とのご意見を伺います。

一般的には6個でよろしいと思います。

お葬式まで日があく場合はお通夜の当日新しく取り替えることが多いようです。  
盛ってあったご飯とお団子は半紙にくるんでお棺の中に納めます。(一回分程度)

### 枕団子の作り方

上新粉100gを100ccのお湯で練ります。  
(水で練るとベタベタしません。)  
人肌くらいの柔らかさになったら必要個数に  
わけ、丸く形を整えます。  
(6個の場合はピンポン玉くらいの大きさ)  
沸騰したお湯で20分ほど蒸します。  
皿に盛って枕飾りに供えます。

### 枕団子の盛り方

#### 6個の場合

お皿に5個並べます。  
次に1個のせてできあがりです。

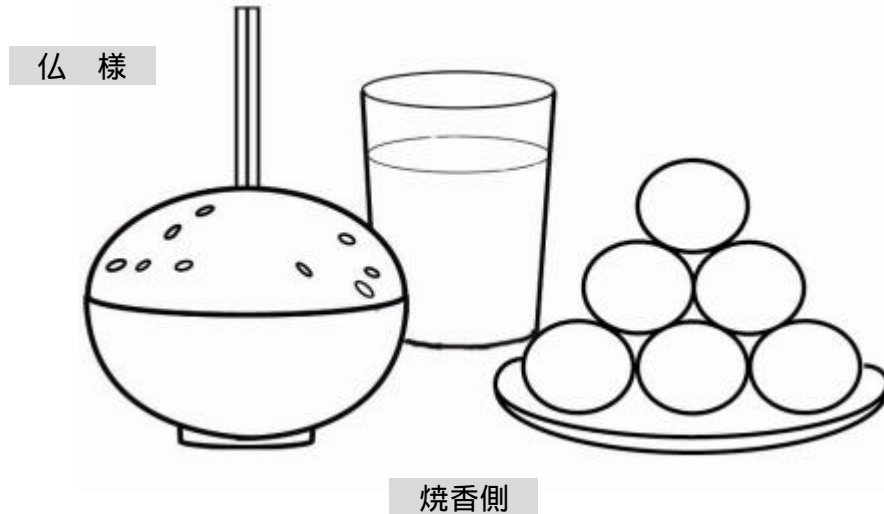
#### 10個の場合

お皿に6個並べます。  
次に3個のせます。  
最後に1個のせてできあがりです。

宗旨宗派により異なります。弊社係員にお尋ねください。

## お供えの仕方

一膳飯（枕めし）・枕団子が出来上がったなら枕机の上にお供えします。  
置き方に決まりはありませんが、一般的には向かって左に一膳飯、中央奥に透明のグラスにお水、右側に枕団子の置き方でよろしいかと思います。



それ以外にも一輪挿しとして、櫛か一輪菊を用意します。  
お茶や好物があれば お盆や小机等を利用してお供えします。  
(例 お酒・タバコ・果物・お菓子など)

## 神棚封じと仏壇

神棚の御神酒・榊などを取り下げ、半紙や白い紙を神殿の前面に貼ります。(神棚封じ)  
忌明けまで触れないようにします。(但し、浄土真宗では神棚封じの必要はありません)

近隣では仏壇を忌明けまで閉じる習慣があります。

本来仏教では仏壇を閉める必要はないと伺います。地域の習慣も色々でそれぞれに違います。  
檀家寺があれば何うのもよろしいかと思います。

安置しているお部屋に絵画やトロフィーがある場合は取り外すか、半紙で封じます。  
地域によって額縁や鏡、テレビなど反射するようなものにはすべて半紙を貼る地方もあるそうですが、近隣ではあまりこだわらないようです。